

病 院 だ よ り

令和 8 年 8 月 号 第 465 号



昭和医科大学病院

検索



昭和医科大学病院附属東病院

検索

発 行 昭和医科大学病院、東病院
発行責任者 昭和医科大学病院長 相良 博典
編集責任者 広報委員長 山岸 昌一
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
TEL: 03-3784-8000 (代表)

就任のご挨拶

昭和医科大学病院 消化器内科 かくしま なおみ 角嶋 直美



2026 年 4 月 1 日より、昭和医科大学病院 消化器内科科長に着任いたしました角嶋直美です。

消化器内科は、消化管、肝臓、胆膵グループで構成されており、他の診療科との連携を大切に専門的かつ高度な診療を行っています。消化管内視鏡を使った早期消化管癌の内視鏡治療、炎症性腸疾患の外来薬物治療、ラジオ波による肝細胞癌の治療、様々な原因による肝障害の診断・治療、そして膵胆道系疾患の内視鏡診療に力をいれております。患者さんお一人お一人としっかり向き合い、最善の医療を提供するように全力を尽くして参りたいと存じます。

地域の医療機関とも連携し、安心して治療を受けていただけるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

<今後の展望>

私はこれまで早期消化管癌の内視鏡診断・治療を中心に診療・研究を行ってまいりました。その経験を活かし、患者さん個々のニーズに応じた質の高い医療を実現してまいります。消化管領域のみならず、消化器内科全域で、診断、治療困難例に、引き続き真摯に力強く、粘り強く対応し、地元、ひいては全国の患者・家族にとって頼もしいパートナーたる診療科にしていきたいと考えております。また、地域の基幹病院にある消化器内科という側面を大事にし、他診療科や関連病院との連携を深め、常に頼りにされるパートナーでありたいと考えております。皆様に信頼される消化器内科であり続けるよう努めてまいります。

<プロフィール>

2000 年 3 月 東京大学医学部医学科卒業
2001 年 日立総合病院内科
2002 年 東京大学医学部附属病院 消化器内科
2007 年 埼玉医科大学国際医療センター 消化器内科
2008 年 静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科
2020 年 名古屋大学医学部附属病院 消化器内科
2024 年 東京大学医学部附属病院 光学医療診療部部長



今月は「2年目 理学療法士」の山平 愛美（やまひら まなみ）さんをご紹介します。

理学療法士を目指した理由を教えてください。

私は高校生の頃バレーボールをしており、怪我をした際に理学療法士の方と関わったのがきっかけでした。身体機能面の回復だけではなく、当時の不安な気持ちにも寄り添いリハビリテーションをしてくださる姿に救われました。この経験から私も怪我や病気で苦しむ患者さんの心に寄り添える理学療法士を志すようになりました。



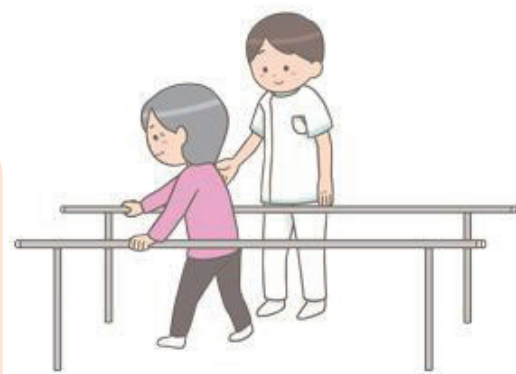
現在、どのような業務をしていますか。

私は、呼吸器やがんの患者さんを中心に担当しています。しかし、近年は高齢化が進んでおり、単一の疾患だけではなく、多数の既往歴を抱えている患者さんが増えています。そのため、様々な疾患に対応できるような知識を日々積み重ねながら個々の患者さんに寄り添ったリハビリテーションを行っています。



今後、どのような作業療法士を目指しますか。

私は現在心臓リハビリテーションにも携わっています。そこでは、運動療法を通じて、心疾患の再発や再入院を予防すること、運動習慣の定着を目指すことの大切さを実感しました。退院後も患者さんが自分らしく健康的な生活を送れるように多職種で連携を取りながら包括的にサポートできる理学療法士を目指します。



2026年6月24日（水）、昭和医科大学上條記念館にて第43回昭和医科大学クリニカルセミナーを開催いたしました。231名の地域医療機関の方々にご参加いただき、院内からも143名（医師・看護師・MSW含む）が参加いたしました。

講演会では新任（医療連携室長/副院長/診療科長）の紹介と2名の医師による講演を行いました。講演会終了後にはご来場いただいた地域医療機関の方々への日頃のお礼と当院医師との親睦・交流を図る目的で「懇親会」を行い、和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われ、おかげさまで盛会のうちに終わることが出来ました。

改めて、地域医療機関の方々のご期待に添えるよう職員一同努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

医療連携室



※講演会の様子



※懇親会の様子

■講演会

<病院紹介>

1)『昭和医科大学病院・昭和医科大学病院附属東病院の施策と概要』 昭和医科大学病院 病院長 相良 博典

<新任（医療連携室長/副院長/診療科長）の紹介>

- ・医療連携室 室長
- ・副院長
- ・副院長
- ・消化器内科
- ・泌尿器科

副院長 青木 武士

副院長 新家 俊郎

副院長 深貝 隆志

診療科長 教授 角嶋 直美

診療科長 教授 押野晃和彦

<講演>

1)『Bounce-back Admission の事例から学ぶよりよい病診連携のあり方

～「次につなぐ」救急診療をともに考える～

救急・災害医学 総合・救急診療科 准教授 垂水 庸子

2)『多焦点眼内レンズ はじめの一步』

眼科学 教授 恩田 秀寿



相良 博典 病院長



垂水 庸子 先生



恩田 秀寿 先生

お知らせ

七夕飾り付けのご報告

6月23日（火）から7月7日（月）にかけて中央棟正面玄関並びに2階渡り廊下にて七夕飾りを設置いたしました。

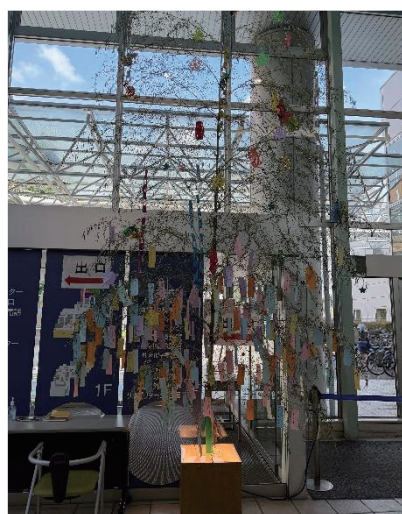
設置した笹には皆さんの願い事が書かれた短冊が沢山飾られました。



大学病院 中央棟正面玄関前



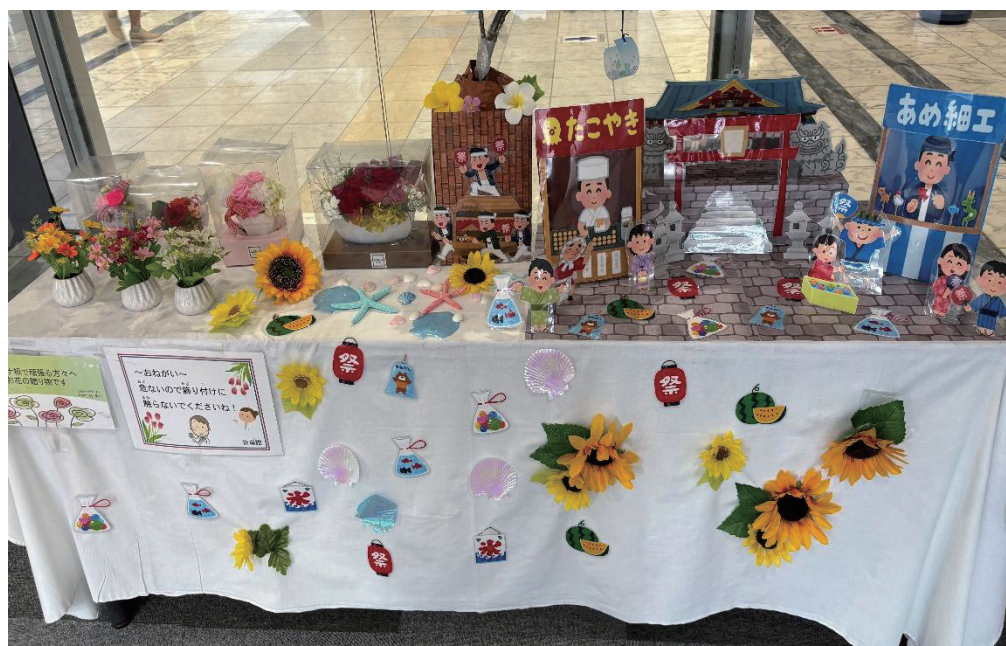
大学病院 中央棟渡り廊下前



東病院 玄関前

お知らせ

中央棟正面玄関飾りつけのご紹介



中央棟1階正面玄関にて季節の飾り付けを行いました。

今回のテーマは

おまわり です。

今後も季節に合わせて、飾りつけを行う予定です。

ご来院の際は、ぜひご覧ください。

開催報告

第 39 回旗ヶ岡盆踊り大会を開催しました

7月24日、旗ヶ岡盆踊り大会を旗の台キャンパス中庭で開催いたしました。

旗ヶ岡盆踊り大会は昭和 63 年に第 1 回を開催して以来、近隣の方々とともに盛り上げてきました。今回も大変多くの方にお越しいただき、かき氷や焼きそば、金魚すくいなどの屋台や、華やかな踊り手、迫力のある太鼓の演舞により盛会となりました。



当取り組みは、昭和医科大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、**チーム力を高めること**で患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

麻酔科から臨床工学室へのありがとう！



臨床工学技士 錦織さんへ

いつも手術室の機材に不具合があると、お忙しい中でも速やかな対応をして頂いています。

【患者さんに与えた良い影響】

患者さんへの安全な手術の提供に多大な貢献を頂いています。

臨床工学技士 上原さんへ

いつも笑顔で話しかけやすいこともあり、些細なこともついお願いしてしまうのですが、それでも優しく対応頂いております。

【患者さんに与えた良い影響】

手術室スタッフの心理的安全性の確保、医療現場の安心安全につながっています。



薬剤部から看護部へのありがとう！



総合サポートセンター 中野さんへ

退院患者さんについての情報を病棟薬剤師へもお声がけいただき、地域のケアマネジャーや訪問看護、保険薬局との連携を迅速に進めてくださいました。

【患者さんに与えた良い影響】

安全に薬剤治療を継続できる体制を整えてくださり、安心して退院を迎えることができました。

16・17階 看護助手の皆さんへ

いつも笑顔で患者さんに接していらっしゃいます。私たち薬剤師にもいつも優しくお声がけくださるおかげで、とても心地よく、安心して病棟業務に励むことができています。
急なお薬の搬送にもいつも快く、迅速に対応していただいています。

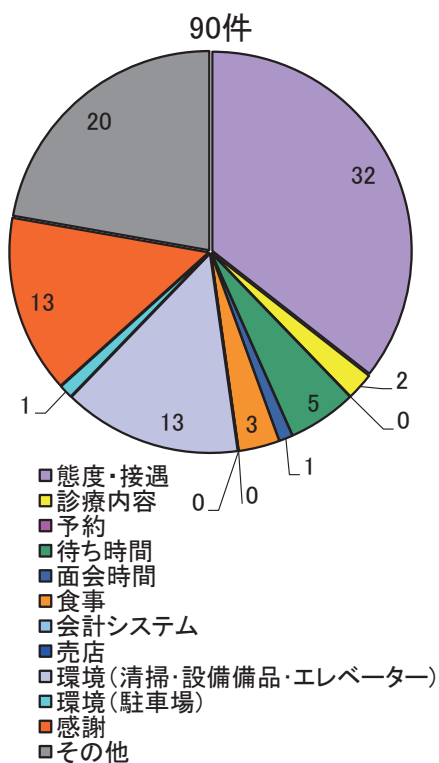
【患者さんに与えた良い影響】

遅滞なく患者さんへ確実にお薬を届けることができ、スムーズな治療に繋がっています。
皆さんの笑顔が入院生活の中で癒しのひと時になっているかと思えます。

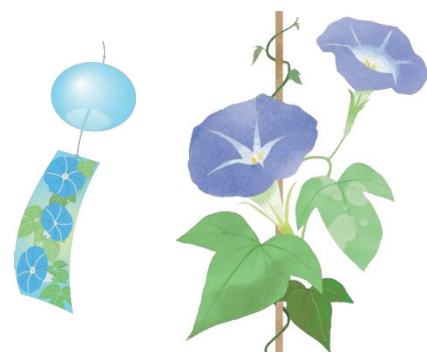
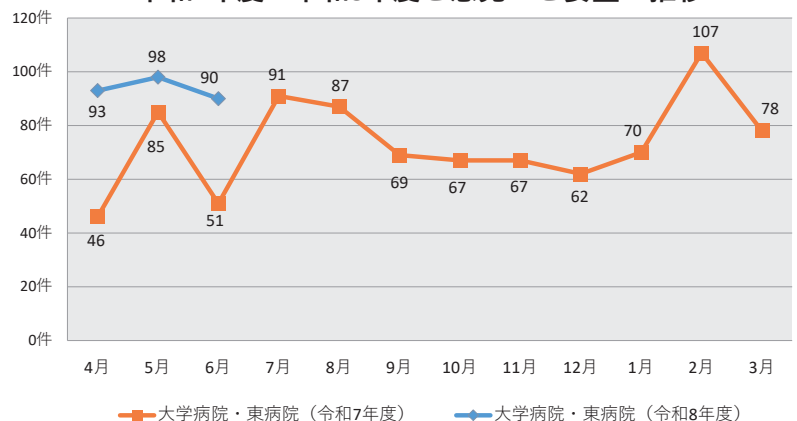


ご意見・ご要望	回答	回答 部署
仕事帰りの18時までの面会は非常に厳しいため、必死に駆け込む家族の心情に配慮し、面会時間の延長・見直しをお願いします。	この度は面会時間に関しまして、ご不便をおかけし心よりお詫び申し上げます。 当院では感染症対策のため、面会時間を18時までとしておりました。 7月1日より「14時～20時」へと面会時間を延長させていただいております。 何卒よろしくお願い申し上げます。	看護部
先日外来の帰り、ガーデニング部の皆様が紫陽花を配っていらして、私も一束いただきました。10年以上通っていて初めての経験ですが、きっと長く続けていらっしゃるのでしょう。色とりどりの紫陽花がバランスよくブーケにされていて、本当に素敵でした。これだけの立派な紫陽花を育て、手入れをされ、ブーケにして患者さんに配る。お忙しい学生の皆様がたくさんの手を割いてくださり、とてもありがたかったです。	この度は心温まるお言葉をいただき、ありがとうございます。大学構内の紫陽花がとてもきれいに咲いていたので、少しでも患者様の心が和めばと思い花束にいたしました。喜んでいただけて、こちらこそ胸がいっぱいになりました。患者の皆さまこれからの穏やかな毎日を、心より応援しております。	旗の台ガーデニングサークル 昭和医科大学

令和8年8月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和医科大学病院・東病院総件数



令和7年度・令和8年度ご意見・ご要望の推移



トピック

7月27日 暑気払いを行いました

令和8年7月27日（月）上條記念館にて昭和医科大学病院・昭和医科大学病院附属東病院の暑気払いを行いました。当日は各部署から参加者を招待し、相良病院長、村上病院長からも日々の業務への労いの言葉がかけられ、今後もさらなる安心・安全な医療を提供していくための良いコミュニケーションの場となりました。



編集後記

放射線技術部 吉田 真也

8月の空は、1年の中で最も高く、そして力強い青さに満ちています。ふと見上げるひまわりの健気さや、夕立のあとにふわりと香る土の匂いなど、夏は私たちに様々な表情を見せてくれます。短くも鮮烈なこの季節は、最も生命の輝きを感じられる素晴らしい時期です。

快適な室内環境で身体をいたわりつつ、今しか出会えない季節のきらめきを、皆様が健やかに、そして存分に堪能されますように。

昭和医科大学病院・附属東病院の理念

- ・ 患者本位の医療
- ・ 高度医療の推進
- ・ 医療人の育成

昭和医科大学病院・附属東病院の基本方針

- ・ 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- ・ 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- ・ 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- ・ 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け